

# 平成30年度 「ふれあい地域懇談会」報告書

## ＜ 玉 縄 地 域 ＞

日 時	平成30年7月17日（火） 午後3時～5時
場 所	玉縄学習センター 第4集会室
出 席 者	自治・町内会代表      24団体：24名 地域団体代表          7団体： 7名                      計31名 鎌倉市                                      8名
内 容	<p>第 1 部      市長からの報告..... P. 1                  「持続可能な都市『鎌倉』を目指して」</p> <p>第 2 部      地域の懸案事項に関する報告..... P. 21                  ① 山崎跨線橋北交差点の交通整備について                  ② ごみ焼却施設建設問題について                  ③ ごみ屋敷対策条例について                  ④ マイナンバーカードについて</p> <p>第 3 部      本年度の地域の議題に関する懇談..... P. 25                  ① 市の公園ベンチを防災用に変える                  ② 大船観音前切通しの石垣補修について                  ③ 岡本二丁目マンション跡地再開発計画                  ④ 玉縄地域内3小学校の統廃合計画                  ⑤ 道路狭隘のため、ガードレールの支柱の付け替えの要望</p> <p>付 録      当日配布資料..... P. 39</p>



出席者名簿（敬称略）

【自治会・町内会等】

	団 体 名	氏 名	備 考
1	台新町自治会	重田 秀明	会長
2	戸部本町町内会	小泉 豊	会長
3	新富町町内会	高田 隆	会長
4	坂本町町内会	中山 強	会長
5	山王町内会	水上 浩志	会長
6	玉川町町内会	近藤 順子	
7	岡本町内会	杉山 伸幸	会長
8	コスモ鎌倉玉縄自治会	川口 宏	会長
9	D I Kマンション自治会	角田 時子	会長
10	鎌倉ロジューマン自治会	石井 英明	会長（司会）
11	植木町内会	山崎 一二	会長
12	オーベル鎌倉植木管理組合	永島 道夫	会長
13	鎌倉岡本ガーデンホームズ自治会	鈴木 康夫	会長
14	四季の杜自治会	田名部 洋	会長
15	ラシェール鎌倉岡本ハイライズ自治会	増村 正	
16	レックスガーデン鎌倉岡本自治会	遠藤 泰子	会長
17	鎌倉グランマークス自治会	白井 克実	会長
18	新植木町内会	齋藤 絹代	
19	関谷城廻町内会	正木 重郎	会長
20	城廻自治会	渡辺 寿三	会長
21	星和城廻自治会	本庄 史朗	会長
22	城廻清水小路自治会	石井 辰男	
23	新風台自治会	圓谷 光	会長
24	ガーデンハイツ鎌倉玉縄自治会	三好 和人	会長

【その他の団体等】

	団 体 名	氏 名	備 考
1	鎌倉市社会福祉協議会	井上 達夫	
2	玉縄女性の会	山森 美紀	
3	玉縄地区社会福祉協議会	小川 サヨ子	
4	第九地区民生委員児童委員協議会	平井 潤子	
5	みらいふる鎌倉玉縄地区	鈴木 義雄	
6	鎌倉市青少年指導員連絡協議会玉縄地区	平野 守久	
7	神奈川県立大船フラワーセンター	榎本 浩	

【鎌倉市】

	役 職	氏 名	備 考
1	鎌倉市長	松尾 崇	
2	共創計画部長	比留間 彰	
3	行政経営部長	齋藤 和徳	
4	防災安全部長	柿崎 雅之	
5	こどもみらい部長	進藤 勝	

6	都市整備部次長	関 淳一	
7	教育部長	佐々木 聡	
8	玉縄支所長	今井 伸行	

# 第1部 市長からの報告

## 【全地域共通】

平成30年度ふれあい地域懇談会 第1部市長からの報告



## 持続可能な都市『鎌倉』を目指して

鎌倉市長 松尾 崇

Takashi Matsuo Mayor of Kamakura

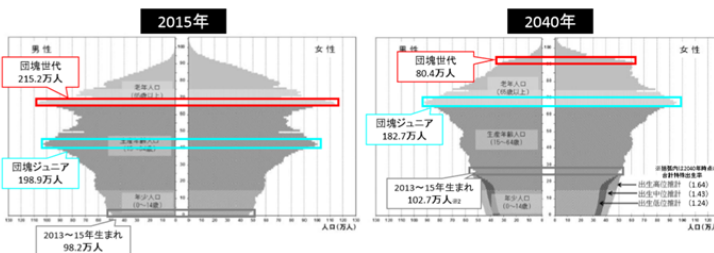
# 第32次 地方制度調査会

地方の行財政制度を検討する首相の諮問機関、第32次地方制度調査会が7月5日初会合を開いた。人口減の中、高齢化がピークを迎える2040年頃の自治体の姿を描き、必要な法整備を2年間かけて議論する。

## 安倍首相のコメント

「急速な少子高齢化、深刻な人口減少により歴史上、経験したことのない事態に直面する。具体的な解決策を幅広く検討いただきたい。」

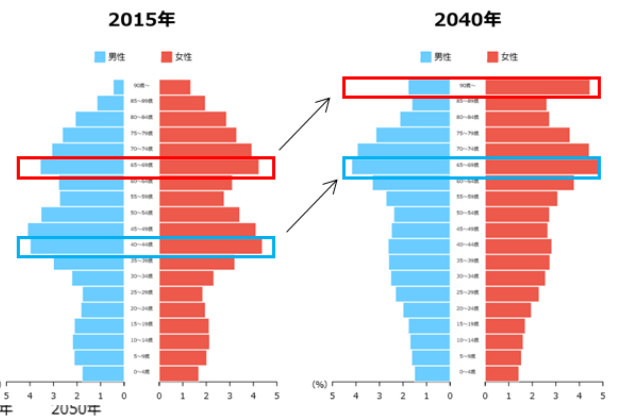
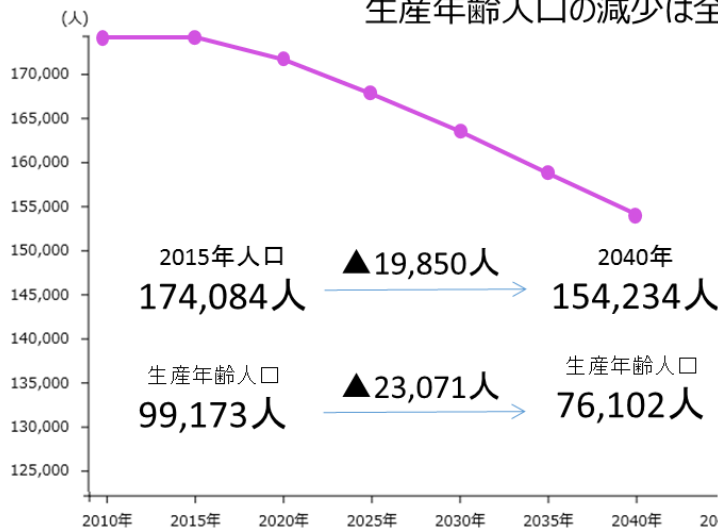
## 15歳～64歳の働き手世代が 現在の7558万人から40年には5978万人と激減



	出生数	2015年※1	2040年※1
団塊の世代 1947～49年生まれ	267.9万人 ～269.7万人	215.2万人 66～68歳	80.4万人 91～93歳
団塊ジュニア 1971～74年生まれ	200.1万人 ～209.2万人	198.9万人 41～44歳	182.7万人 66～69歳
【参考】 2013～15年生まれ	100.4万人 ～103.0万人	98.2万人 0～2歳	102.7万人※2 25～27歳

# 鎌倉市に目を向けると

人口は19,850人（11.4%）減少  
 生産年齢人口は、23,071人（23.2%）減少  
 生産年齢人口の減少は全国平均の20.9%よりも2.3%高い



## 鎌倉市が取り組むべき課題

急激な人口減少・少子高齢化の進行は、税収減・社会保障費の増につながる。この様な環境下において様々な課題にどう対応し、持続可能なまちづくりを進めるか。従来のシステムを根本から変えなくてはならない。

- 災害対策（地震・津波・異常気象など）  
震度6弱以上の地震が30年以内に来る確立82%（横浜市）：政府地震調査委員会
- 一斉に老朽化する公共施設・インフラの維持管理
- 年間約2,000万人（入込観光客数）の観光客と慢性的な渋滞対策
- 高齢化進行が著しい住宅地の再生（安全安心・コミュニティ再生）

**市民の暮らしを守る 「住みたい・住み続けたいまち」をつくる**

## 鎌倉市政の抱える課題（社会インフラの維持管理）



稲村ガ崎の崖の崩落により  
下水道管が破損

## 鎌倉市政の抱える課題（社会インフラの維持管理）



岩瀬隧道内の上部の一部が崩落

## 鎌倉市政の抱える課題（社会インフラの維持管理）



第一中学校への通学路脇の崖で落石が発生



## 鎌倉市政の抱える課題（社会インフラの維持管理）

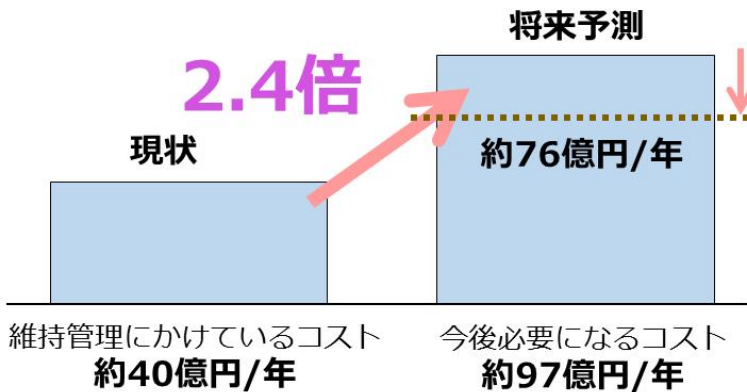
社会インフラの維持管理に必要となる経費は、**年間約97億円**。

現状の約40億円の**2.4倍**となる。

公共施設のように削減することができない。

### 鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画

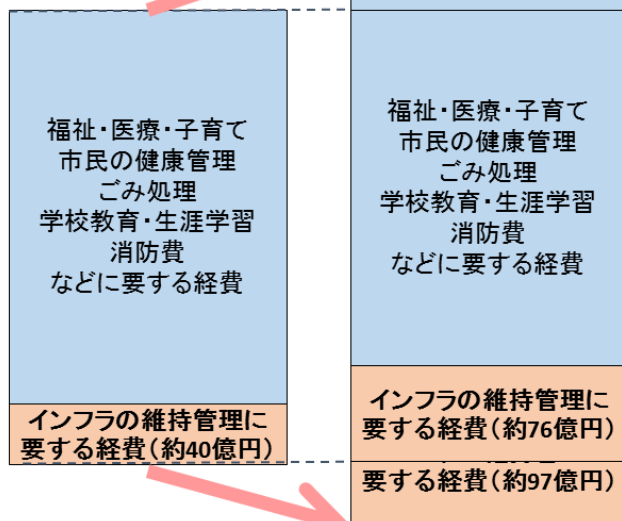
- ・ 管理水準の適正化
- ・ 予防保全型管理方式への転換
- ・ 民間の力を活用したコスト削減
- ・ 適正負担（受益者負担）の見直し
- ・ 災害時の事業継続の視点



## 鎌倉市政の抱える課題（社会インフラの維持管理）

現 状

将来予測



社会保障費などの増加  
(さらに人口減少による歳入減)



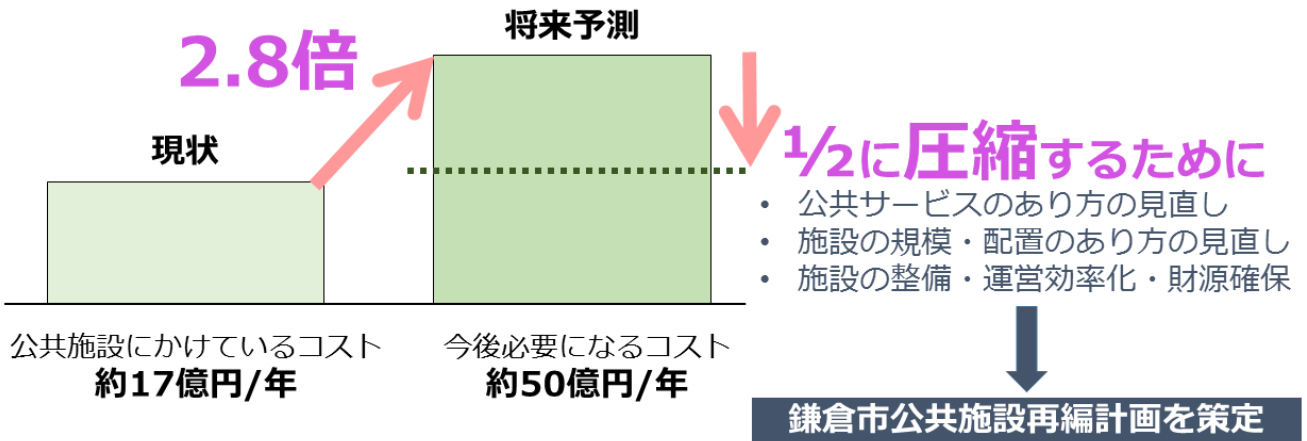
既存事業の見直し  
公共施設の維持管理コストの削減



インフラの維持管理に要する経費の増加

## 鎌倉市政の抱える課題（公共施設の再編）

老朽化が進む公共施設の維持管理に必要となる経費は、年間約50億円。現状の約17億円の2.8倍となる。



## 鎌倉市政の抱える課題（公共施設の再編）

市民の生命を守る災害対策（市役所本庁舎の整備）

### 建築から約50年

建物・設備の老朽化が進行

### 災害への備え

最低限の耐震強度はあるものの  
防災拠点としての機能強化が必要

### スペース不足

執務室の分散により、業務効率  
市民サービスが低下

市民参画で検討を重ねる（h28～）



手続きの場から  
相談の場へ

## 鎌倉市政の抱える課題（公共施設の再編）

### ◆ 建設コスト規模の比較（イメージ）

コストメリットが  
最大の整備手法

#### 現在地建替え

その他の主なコスト

#### 現在地長寿命化

その他の主なコスト

#### 移転

180億円は、必要な面積に近年の建設コストを乗じた数値  
3.6億円 庁舎のコンパクト化や民間活力の導入に積極的に取り組み  
**整備コストを圧縮（税の投入を極力減らす）**

約194億円

（現在地と別敷地合算）

約207億円

（現在地と別敷地合算）

約180億円

床面積不足による分散化  
分散による施工単価増  
仮移転によるコスト増

床面積不足による分散化  
分散による施工単価増  
仮移転によるコスト増  
耐震改修による施工単価増

跡地の利活用による  
さらなる効果

## 鎌倉市政の抱える課題（公共施設の再編）

### 移転場所を深沢地域整備事業用地に決定

#### 現在地

駅前での便利な場所  
市民・来訪者にとって快適で魅力的な場をつくる

**市民に必要な窓口機能を残し**  
図書館・ホール等の機能を導入



津波避難ビル  
としても機能

鎌倉の価値を  
高める  
相乗効果



#### 移転先

新しいまちづくりが進む場所  
災害に強く、市民が生き生きと健康に暮らせるまちをつくる

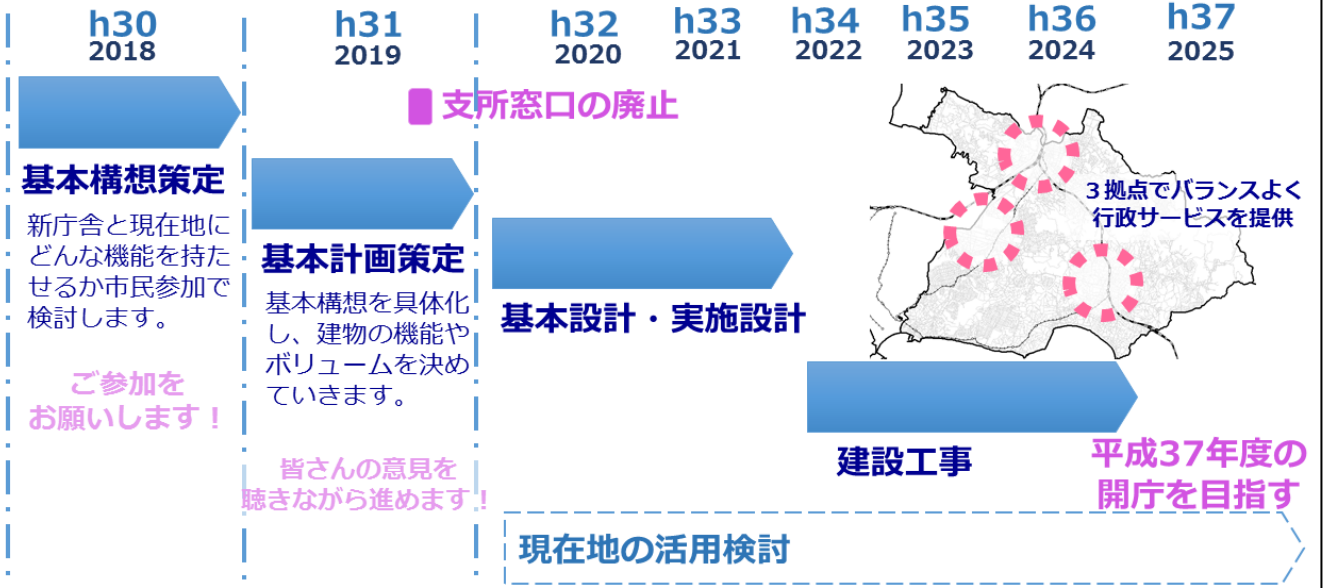
**消防本部等との合築により**  
防災・健康等の価値創造



13

## 鎌倉市政の抱える課題（公共施設の再編）

### 今後のスケジュール



## 鎌倉市政の抱える課題（公共施設の再編）

### 移転場所を深沢地域整備事業用地に決定

#### 現在地

駅前での便利な場所  
市民・来訪者にとって快適で魅力的な場をつくる

**市民に必要な窓口機能を残し**  
**図書館・ホール等の機能を導入**



#### 窓口がなくなり不便になるのは困る

現在、本庁舎の1階にある市民サービスのための窓口は、残ります。ICTの活用やコンシェルジュ機能の導入により、利便性の向上に配慮します。

#### 災害時にどうすればよいのか

これまで同様、災害時の支援機能は維持します（この場所に、職員も残ります。）。また、津波避難ビルとしての機能を持たせます。

#### 「民間活力」として商業施設になっては困る

まずは、周辺の公共施設（学習センター・図書館など）を集約し、市民が集える場所とします。さらに多機能を導入し、市民・来訪者にとって快適で魅力的な場をつくります。今後、皆さんとともに考えていきます。

例えば…このような場所(シリウス：大和)をイメージしています



大和市文化創造拠点シリウス  
(大和駅から徒歩3分の場所にありす)

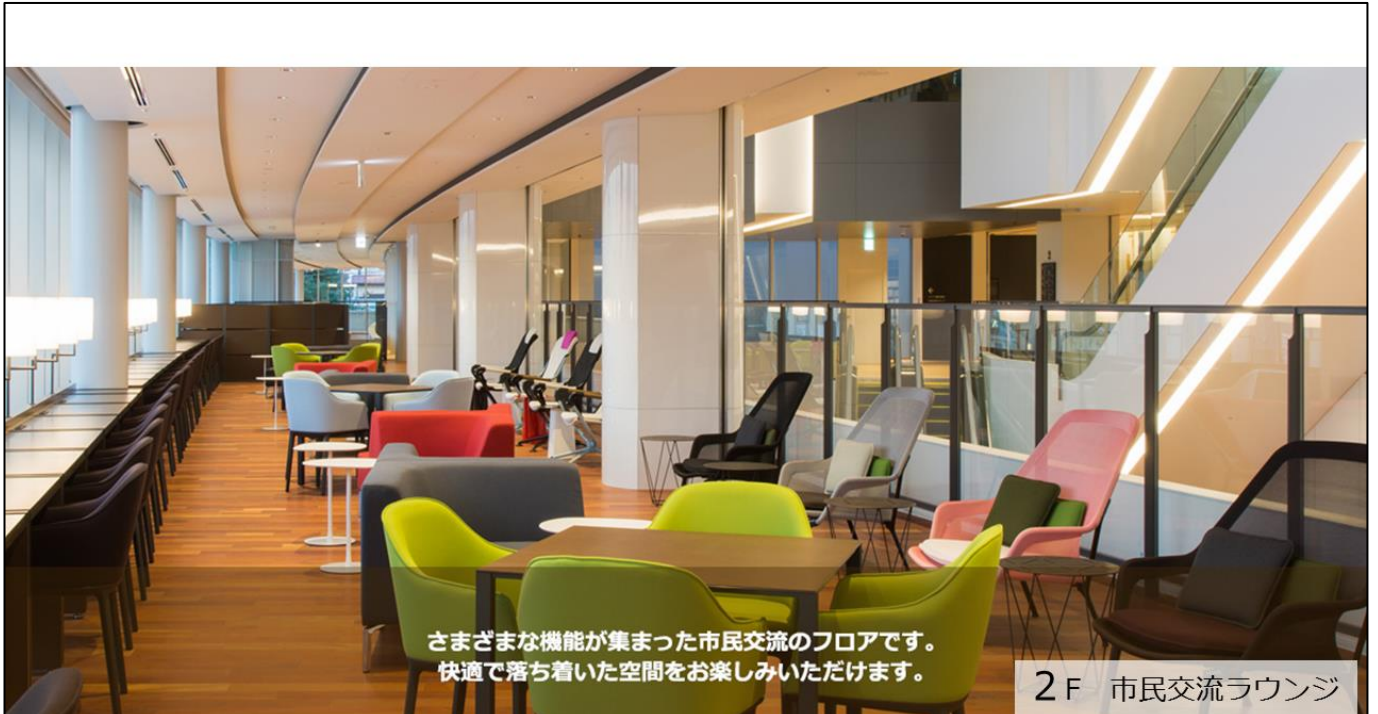


1F エントランス  
1F~5Fの各フロアに図書館があります



2つのホールとギャラリーを備えるフロアです。トップアーティストによる公演や展覧会など、身近に芸術文化に触れる機会を提供します。また、市民のみなさまの手による文化活動の発表の場としてもご利用いただけます。

メインホール。1Fには、サブホールやギャラリーもあります。



さまざまな機能が集まった市民交流のフロアです。  
快適で落ち着いた空間をお楽しみいただけます。

2F 市民交流ラウンジ



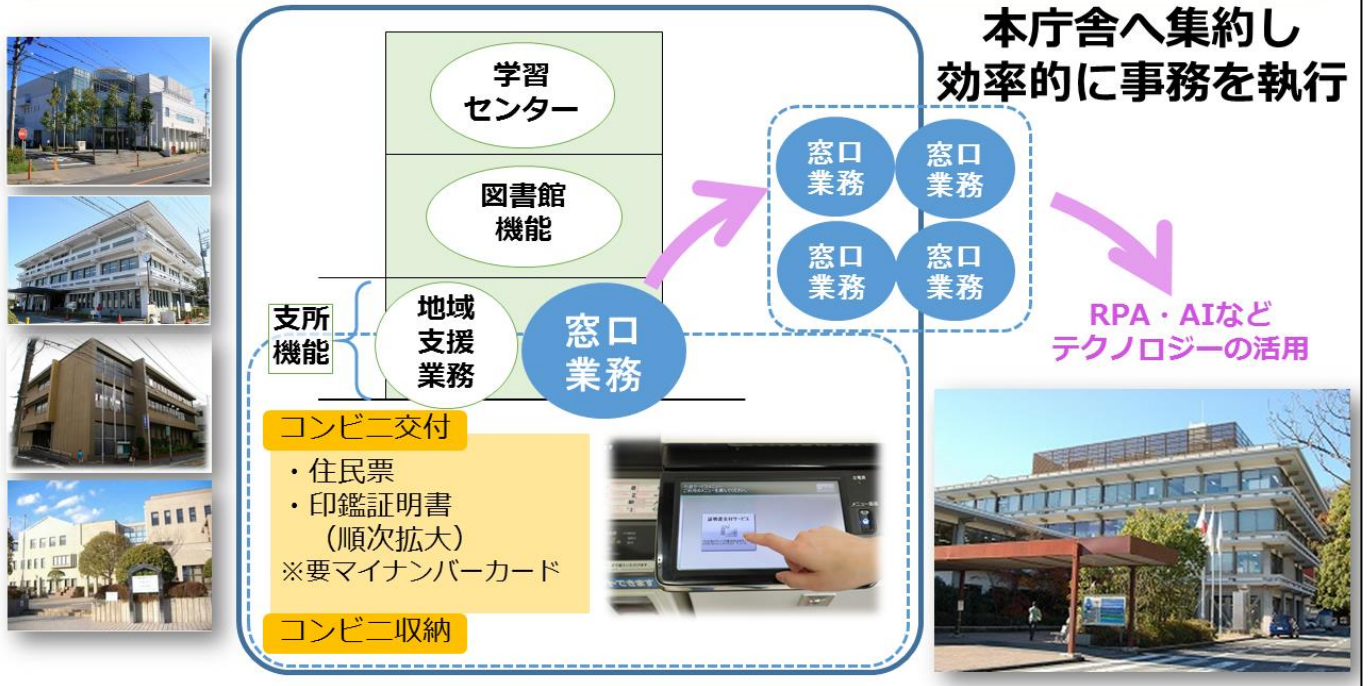




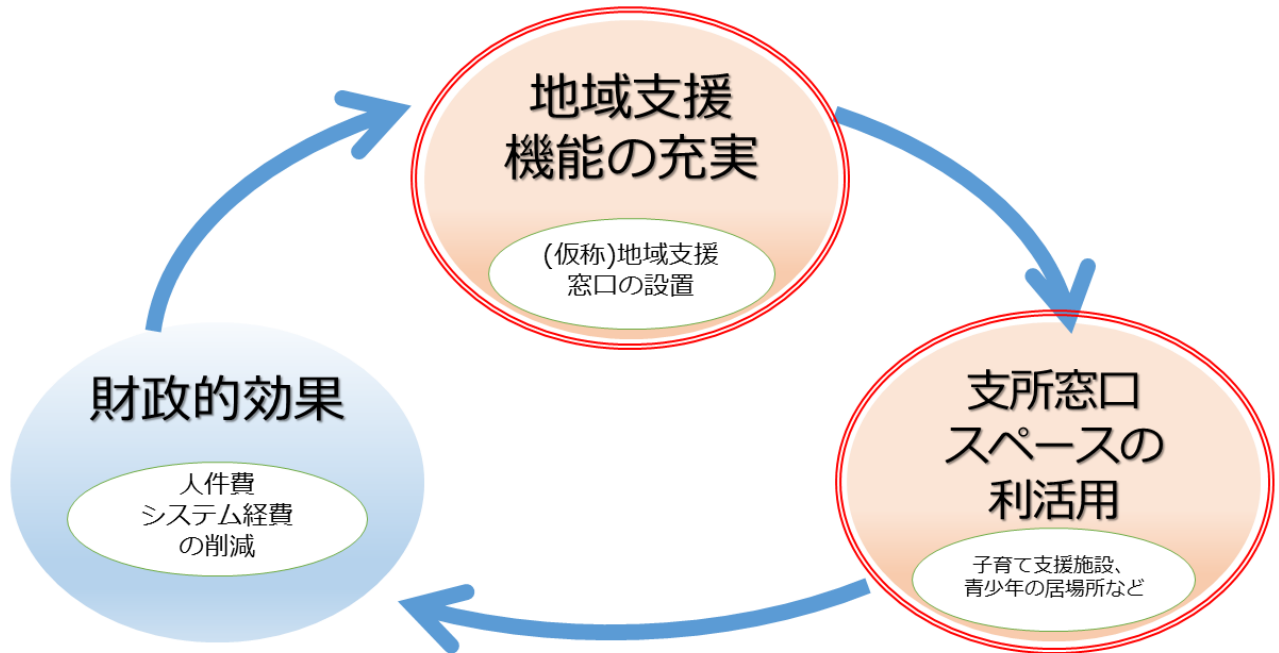


6 Fには、市民交流スペースがあります

## 鎌倉市政の抱える課題（公共施設の再編計画）



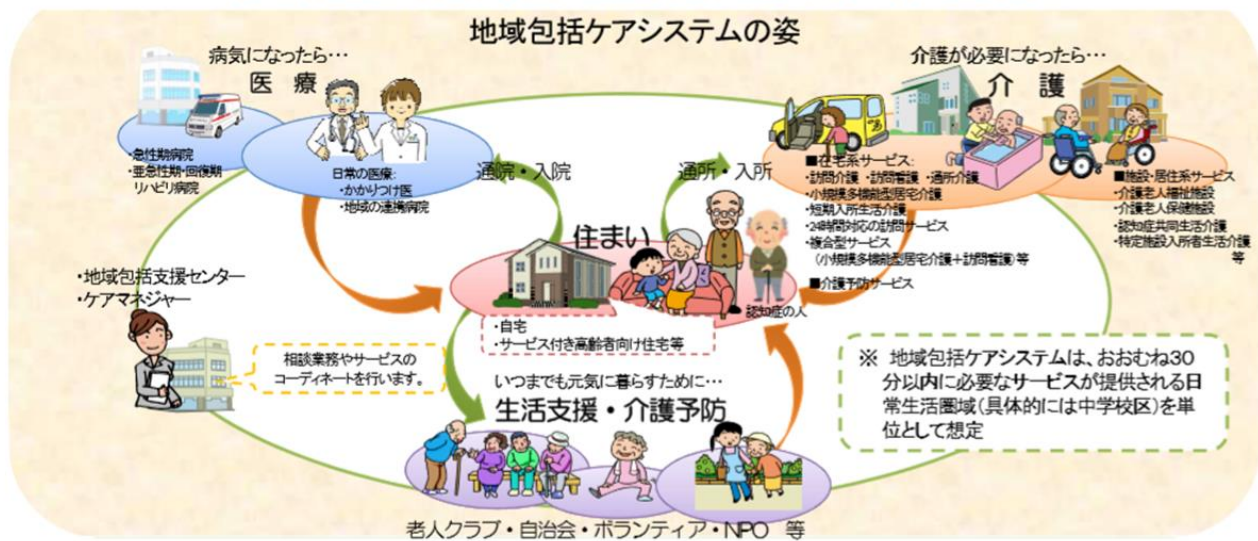
## 鎌倉市政の抱える課題（支所業務のあり方）



## 鎌倉市政の抱える課題（住み慣れた地域で生活するために）

『住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるまち』をつくる

地域で医療・介護・予防・生活支援・住まいを一体的に提供



## 鎌倉市政の抱える課題（住み慣れた地域で生活するために）

産学官民の連携により「地域で地域の課題」を解決する、まちをマネジメントしていく仕組みをつくる

### 鎌倉リビングラボの全市展開



## 鎌倉市政の抱える課題（渋滞対策）

現状：鎌倉の観光拠点である鎌倉地域は、休日を中心に著しい交通渋滞が発生

### これまでの取組

- 鎌倉市交通計画研究会(平成8年度設置)
  - ・市民、学識経験者、交通事業者、関係行政機関等で構成し、地域の交通問題の改善に係る20の施策を提案し、実施可能なものから順次実施
- パークアンドライド(平成13年度より実施)
  - ・鎌倉地域周辺の所定駐車場(4箇所)で公共交通機関(江ノ電、シャトルバスなど)への乗り換えを実施(利用促進策として協賛店での料金の割引やサービスを実施)
- 鎌倉フリー環境手形(平成13年度より実施)
  - ・鎌倉地域の主要観光地をカバーする5路線のバスと江ノ電の鎌倉駅～長谷駅間が1日乗降自由になる切符を販売(利用促進策として協賛店や神社等で割引等を実施)

⇒ 抜本的な交通渋滞の解消は出来ていない



課金により流入交通量をコントロールする**ロードプライシング**を検討

# 鎌倉市政の抱える課題（渋滞対策）

## ・課金の方向性

課金の方向性について、特別委員会では、次のとおり、基本的な事項をとりまとめました。

項目	内容
①対象エリア	<u>国道 134 号を除く鎌倉地域とする。</u>
②対象日	<u>全ての土日祝日等(年間 120 日程度)とする。</u>
③課金時間	8 時から 16 時までを基本する。
④課金単位	1 回ごとに課金(課金箇所に流入 1 回につき課金)する。
⑤課金対象	鎌倉地域に流入する全ての自動車、二輪車とする。 (緊急車両、福祉車両、障がい者等の車両、路線バス、タクシー、宅配車両、市内に事業所や店舗等がある業務車両は除く。)
⑥課金パターン	市外からの流入車両を 1 とした場合、 <u>市民の負担割合は 0~0.1 程度とする</u>
⑦課金の使途	システムの運営・管理費、公共交通への転換方策等に充てる

これらの条件を基に法制度面等と併せて、検討を進めています。

# 鎌倉市政の抱える課題（渋滞対策）

## 今後の予定

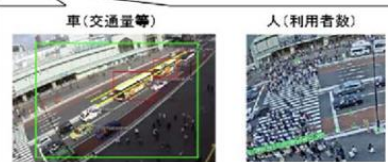
- ・「第 3 次鎌倉市総合計画第 3 期基本計画後期実施計画（H29~H31）」に基づき、自動車利用の抑制策等を踏まえた交通シミュレーションを実施し、平成 31 年度に本市で「(仮称)鎌倉ロードプライシング」の社会実験を実施する予定です。
- ・平成 29 年 9 月に国土交通省の「観光交通イノベーション地域」に鎌倉市が選定されました。現在、ICT、AI 等の技術を活用し、エリアプライシングを含むエリア観光渋滞対策のためのデータを収集しています。

(仮称) 鎌倉ロードプライシングの概要とシステムイメージ



## AIカメラ

AIによる画像処理で交通量調査、自動車起終点調査をIT化



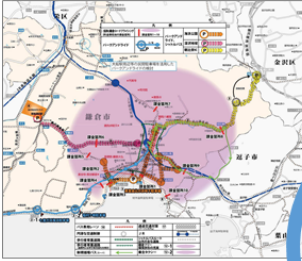
## ETC2.0による通信



ETC2.0車載器と路側機との通信により、プローブ情報(位置、速度、急ブレーキ、経路等)を収集

## 鎌倉市政の抱える課題（渋滞対策）

課金による渋滞解消  
課金による財源確保



## 環境保全

通過交通の排除・渋滞解消により  
CO2削減

ロードプライシングの実施コストの他

魅力的な空間創出（歩道・ポケットパーク・サイクリングロードなど）

舗装や交差点改良・交通案内の充実（ICTの活用など）

鎌倉の歴史・文化遺産の継承・活用

まち並みの美観向上・緑化促進

市民・来訪者（負担者）ともに快適なまちへ

歩いて楽しいまち  
コミュニティの向上  
消費拡大・地域産業の活性化

## 地域活性化

公共交通による移動快適  
緊急自動車等のスムーズな運行

## 安全・安心

## 鎌倉市政の抱える課題（健康づくり）

市民の健康づくり活動を支援し、  
生活習慣の改善や健康寿命の延伸  
を図る

- 健康づくりに取り組むことでポイントが貯まり、貯まったポイントで景品が当たる抽選に応募できるサービスを提供し、市民の健康づくりを応援
- 健診結果等の見える化を図ることで生活習慣の改善及び健康寿命の延伸を図る
- 市内企業等と連携した健康経営の推進

歩いて健康！参加してオクト！  
かまくらヘルシーポイント

歩いて！イベント参加で！  
健診受けて！ポイント貯まる！

チャンスは常時！  
ポイント数に応じて豪華プレゼントが当たる！

3000ポイントで  
ローソンでの健康食品  
がもらえる！

3000ポイントで  
メーヨーでの健康食品  
がもらえる！

1000ポイントで  
健康食品  
がもらえる！

【Pickup】タニタの健康コラム  
サプリメントを服用した食生活サポートで病気の予防やストレスや疲れを大きく感じているときには、栄養を...

【新着必見】タニタの健康コラム  
夜寝る人は元気の口元から...  
はうつい病気になる。口元...  
死のたるとなる方も...

タニタのダイエット・健康コラム  
タニタの社員健康レシピ

タニタの健康コラム  
タニタの社員健康レシピ

インフォメーション

## 第1部 市長からの説明に対する意見・質疑

### <ラシェール鎌倉岡本ハイライズ自治会・増村会長>

市役所の移転費用の見積りはいくらか。

### <松尾市長>

移転整備全体で180億円である。

### <ラシェール鎌倉岡本ハイライズ自治会・増村会長>

資料内のグラフ（注：第1部資料P.7）は移転費用を含めたものか。

### <松尾市長>

そうです。

### <ラシェール鎌倉岡本ハイライズ自治会・増村会長>

現在の市役所の維持費用の見積りはいくらか。

### <松尾市長>

年間の維持コストはここでは計算していないが、建物設備が老朽化し、維持管理費用が高いので、新しくした方が維持管理コストは低いと考えている。

### <ラシェール鎌倉岡本ハイライズ自治会・増村会長>

現在の市役所が移転した後の跡地の収支はどうなっているのか。

### <松尾市長>

鎌倉市役所跡地に造るものがまだ決定していないのでこれからの議題になる。

### <ガーデンハイツ鎌倉玉縄自治会・三好会長>

深沢のJR跡地は柏尾川の洪水浸水想定区域に入っている。そこに市庁舎を建てるのはリスクがあるのではないか。

### <松尾市長>

ご指摘のとおり予定地は一番浸水の浅い辺りではあるが浸水想定地域に入っており、かさ上げなど対策を考えている。候補地を絞り込む過程で、神奈川県が柏尾川の洪水浸水想定区域図を公表したが、対策を行うことで解決できると考えている。

### <ガーデンハイツ鎌倉玉縄自治会・三好会長>

洪水浸水想定区域に防災拠点・災害対策本部を置くことのリスクを考えて対策を取ってほしい。

**<松尾市長>**

鎌倉には、100%被災の可能性がない所はないので、しっかり対策を講じ、対処していきたい。

**<岡本町内会・杉山会長>**

人口減少のため財政が厳しいとの話があったが、収入が減る中でどの部分のコストを削減するのか。どのような優先順位で予算を組むのかが不明である。優先順位はどうなっているのか。

**<松尾市長>**

第一に災害対策、第二に市民の安心安全に関わるインフラの維持管理である。第三のロードプライシングは、新たな税収を生む取り組みとして進めていく。

深沢を第3の拠点として新たなまちづくりを進め、半分の地権者である JR とともに企業誘致など、新たな税収増を考えたい。新しいまちづくりによる優先順位に入っていない部分については、地域の皆さんとともに行財政改革の視点から、地域でできることは地域でという体制作りを考えたい。

**<玉縄地区社会福祉協議会・小川氏>**

地域包括ケアシステムが稼動するのはいつからか。

**<松尾市長>**

2020年を目途にしているが、なかなか進んでいない。現在は過渡期で、まだ時期の見極めができない。





## 第2部 地域の懸案事項に関する報告 【玉縄地域】

### 平成30年度 ふれあい地域懇談会



### 玉縄地域

- 山崎跨線橋北交差点の交通整備について
- ごみ焼却施設建設問題について
- ごみ屋敷対策条例について
- マイナンバーカードについて

# 山崎跨線橋北交差点の交通整備について

【共創計画部 交通政策課】

昨年度のふれあい地域懇談会やその他の機会での要望を受け、時差式信号への変更を大船警察署交通課に伝えました



大船警察署交通課からは、「神奈川県警本部に上申中」との回答



警察の動向を注視し、結果を地元にお知らせします



# ごみ焼却施設建設問題について

【環境部 環境施設課】

## これまでの経過

平成29年10月

- 山崎浄化センターの臭気等の課題については早急に対応
- 新ごみ焼却施設の建設に関しては、焼却施設建設を基本とするが、もう少し協議の枠を広げていきたい



平成29年11月 鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化検討協議会

鎌倉市の可燃ごみを逗子市の施設で焼却することを視野に入れた、広域連携の検討を要請し、了承された



平成30年3月

- 可燃ごみの広域連携を判断する熟度に達していないため
- 新ごみ焼却施設建設とは別に、臭気対策、上部利用の検討、J R引き込み線を活用した周辺まちづくりの推進

上部利用について検討中

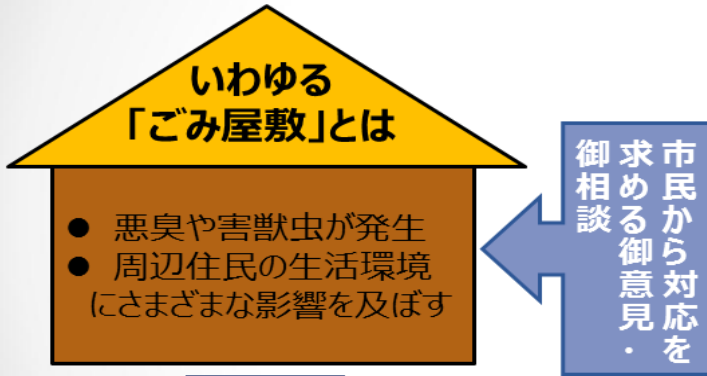
## 可燃ごみの焼却処理について

平成30年度末までに市の方針を明確にしていきます

# ごみ屋敷対策条例について

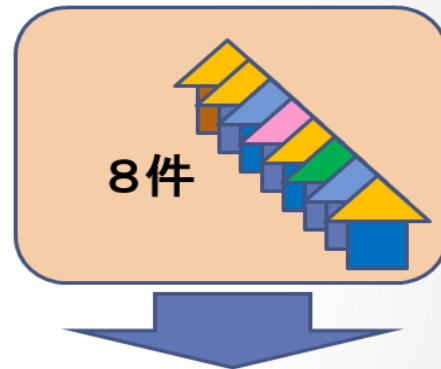
【環境部 環境保全課】

## ■ 制定に至る経緯



平成30年4月「鎌倉市住居における物品等の堆積による不良な状態の解消及び発生防止のための支援及び措置に関する条例」（いわゆる「ごみ屋敷対策条例」）を施行

## ■ 現在把握している件数



条例等に基づく対策を庁内関係課や関係機関等と連携して進めていきます

# マイナンバーカードについて

【市民生活部 市民課】

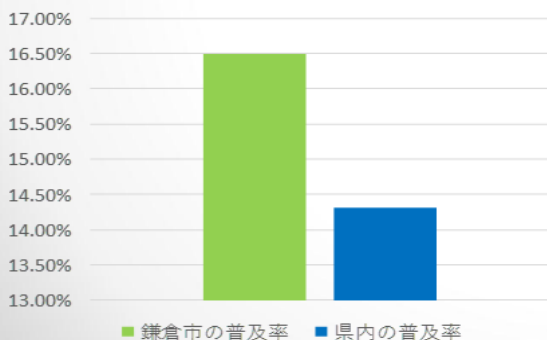
## ■ マイナンバーカードの申請及び交付状況

平成30年5月末現在  
申請数→34,134件  
交付数→29,085枚

県内の普及率  
を大きく  
上回っている



人口に対するカード普及率



## ■ マイナンバーのメリットって？

- マイナンバーの提示と本人確認が1枚でできる
- 各種行政手続きのオンライン申請ができる
- 全国のコンビニエンスストア等で住民票の写しと印鑑登録証明書の取得ができる

## 第2部 「地域の懸案事項に関する報告」に対する意見・質疑

### 山崎跨線橋北交差点の交通整備について

#### <鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>

昨年3月に大船警察署交通課長補佐と話をした時、県警本部と話をして秋までに時差式信号の設置ができるように進めていると聞いていたが、まだ設置されていない。早急に設置を求める。

#### <松尾市長>

そのような情報も併せて警察に伝え、より強力にお願いをしていく。

## 第3部

### 本年度の地域の議題に関する懇談

玉縄－H30－1	市の公園ベンチを防災用に変える
玉縄－H30－2	大船観音前切通しの石垣補修について
玉縄－H30－3	岡本マンション跡地再開発計画
玉縄－H30－4	玉縄地域内3小学校の統廃合計画
玉縄－H30－5	道路狭隘のため、ガードレールの支柱の付け替えの要望

平成 30 年度ふれあい地域懇談会（第 3 部） 回答票

番 号	玉縄－H30－ 1
テ ー マ	市の公園ベンチを防災用に変える
内 容 詳 細	東日本大震災以降、防災に関心が高まっている。ここ関東もいつ大きな地震が来るかもわからない。そのような中、市内の公園のベンチをもしものときに、かまど・トイレになる「防災ベンチ」への取り替えを検討いただきたい。 グランマークスの隣の提供公園のベンチは初めから防災ベンチで、防災訓練等で実際に使われているのを見て、その有効性を感じた。
担 当 部 課	都市整備部 公園課

議題に対する回答等	
<p>防災機能を有するベンチへの交換については、平成 30 年度に策定する公園施設長寿命化計画を策定する中で、街区公園等に防災機能を整備する場合の方針も検討し、ベンチ等の更新を行う際に、公園の利用実態や地域のご要望を考慮した上で、対応をしたいと考えております。</p>	
添付資料	

#### ＜鎌倉ロジュマン自治会・石井会長＞

提供公園等 200 箇所のベンチについては、防災ベンチに交換してほしい。

#### ＜松尾市長＞

災害時にはトイレが深刻な問題になるので、中学校の敷地内に災害用のトイレに使えるような穴を順次整備するということはしている。

アイデアベースではあるが、使われていない公園を廃止し、その分使用頻度の高い公園に費用を投入することも考えている。どの公園を廃止にするかなどは、行政主導ではなく地域主導で合意形成をしていただきたいと考えている。

#### ＜鎌倉ロジュマン自治会・石井会長＞

一律ではなく個々の対応が必要かと思うので、ご意見ご提案をいただきたい。

#### ＜レックスガーデン鎌倉岡本自治会・遠藤会長＞

中学校にトイレをとのことでしたが、学校が遠い地域もあり、徒歩で行くのが困難な方などのために、地域の公園に設置を考えてほしい。地域主導で公園のベンチ等の変更を行う場合、市からの許可が必要なことから、補助等を考えてもらえるか。

#### ＜防災安全部・柿崎部長＞

トイレについては、家は壊れていなくても下水道が使えず流せないなども起こりうるので、家庭に携帯用トイレを備えていただくなど、自助の観点からの取り組みもお願いしたい。また、自主防災組織ごとに携帯用トイレを購入する際、市が半分補助する自主防災活動育成費補助金制度がある。公園のベンチをかまどベンチとして利用することについては、公園課に許認可の確認が必要だが、許可を得て防災用倉庫を公園に設置している自治会もある。自主防災活動育成費補助金が見える。かまどベンチに見えるか、確認したい。

#### ＜都市整備部・関次長＞

平成 30 年度に公園設備の長寿命化計画のための調査を実施している。かまどベンチ一台につき 10 万円プラス工事費で 15 万円となり、通常ベンチだと 5 万円、経費は約 3 倍になる。設置の効果も考えて 1000 平方メートルを超える公園 17 箇所で進めたい。

平成 30 年度ふれあい地域懇談会（第 3 部） 回答票

番 号	玉縄－H30－2
テ ー マ	大船観音前切通しの石垣補修について
内 容 詳 細	大船観音前の切通し（市道 053-000 号線）の石垣は以前から大変痛んでいるが、長い間全く補修がされていない。かつての大船観音前マンション問題の関係で、平成 24 年頃、擁壁点検が行われ、その結果「痛んではいるが、すぐに崩れるような緊急の事態ではない。近い将来には補修を計画する」との趣旨の説明があったと聞いている。石垣一面に草や木が生い茂っており、大雨のときは石の隙間から雨水が噴き出し、通行に支障が生じている。バスターミナルからすぐのメインストリートにも拘らず、誰が見ても安全な状態とは思えないので早急に安全な補修工事を計画していただきたい。
担 当 部 課	都市整備部 道路課

議題に対する回答等	
<p>当該擁壁については、平成 24 年度に実施した岡本二丁目道路設計等業務委託に係る擁壁調査の健全度評価により、背面土質が自立性の高い泥岩を切土造成して構築されていることから、安定性が確保できていると判定されており、当面の危険性はないと判断しています。</p> <p>しかし、調査の際、雨水の浸透から生じたと考えられる空洞が確認されたことから、目地補修や空洞の充填を考えておりますが、まずは、通行の支障となる擁壁面の雑草を除去し、その後対応してまいります。</p>	
添付資料	



**<鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>**

擁壁は民有地か。

**<都市整備部・関次長>**

今回議題となっている擁壁は市有地である。

**<鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>**

その場所の擁壁は、調査から10年くらい経っていると思うがいかがか。

**<都市整備部・関次長>**

平成24年度に階段を設置した際に、調査を実施し併せて擁壁の様子を確認した。擁壁の裏の崖自体は自立している。擁壁自体に少しすき間があるので、空洞を埋めることで擁壁の寿命を延ばしていきたい。来年度以降着手していきたいと考えている。

**<岡本町内会・杉山会長>**

栄光学園の通学路であり、かなり水が出ているので、早めに補修工事をお願いしたい。

**<レックスガーデン鎌倉岡本自治会・遠藤会長>**

通学路等で、地震等による倒壊の危険がある箇所はあったのか。

**<教育部・佐々木部長>**

学校敷地内に、4校6箇所1.2m以上のブロック塀があるところは、既にフェンスに換えるなど緊急対応を行った。通学路のうち私道については、建築指導課が主体となり、危険箇所のご家庭にリーフレットを配布し、50%を補助する制度があることを案内しながら、危険ブロック塀等の除却をお願いしている。

**<松尾市長>**

補助金を活用して、危険箇所の解消をお願いしたい。

平成 30 年度ふれあい地域懇談会（第 3 部） 回答票

番 号	玉縄－H30－3
テ ー マ	岡本 2 丁目マンション跡地再開発計画
内 容 詳 細	境界問題が発生して 2 年強が経過した。当初のマンション建設計画の中止から数えると 15 年以上が経過しており、解決と計画実施の目途はどうなっているか
担 当 部 課	都市整備部 道水路管理課 こどもみらい部 こども支援課

議題に対する回答等

境界問題については、都市整備部において筆界特定申請手続きを平成 30 年 3 月 16 日に横浜地方法務局に行い、同年 5 月 9 日に法務局と現地立会いを行いました。

今後は、法務局による判断が平成 31 年 3 月頃までには示される見込みです。

判断を踏まえ隣接地権者との境界が確定した後は、子ども・子育て支援機能、市民活動支援機能及び交流機能を持った複合施設を整備する計画を進めてまいります。

添付資料

**<鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>**

順調に進んでいればこの春から工事が始まっていた計画がストップしている。長い時間の経過もあり、計画の見直しも必要ではないか。可及的速やかにお願いしたい。

平成 30 年度ふれあい地域懇談会（第 3 部） 回答票

番 号	玉縄－H30－4
テ ー マ	玉縄地域内 3 小学校の統廃合計画
内 容 詳 細	<p>地域内の児童増に伴って、昭和 59 年に植木小学校が鎌倉市最後の小学校として開校してから、早や 34 年が経過した。</p> <p>植木小学校の開校も、昭和 51 年～52 年の鎌倉ロジュマン完成に伴うロジュマンのみで 250 名の小学生増のため、玉縄小学校校庭がプレハブ校舎により手狭になってから 7 年後と鎌倉市の対応は後手に回った。</p> <p>逆に現在は少子化で、植木小の今年の新入生は僅か 33 名（1 クラス）だが、市はどのような児童減のシミュレーションをして、どのような統廃合計画を描いているのか。今後の玉縄のまちづくりにも大きく影響する課題と懸念している。</p>
担 当 部 課	教育部 教育総務課

議題に対する回答等	
<p>教育委員会としては、高度成長期に建設された多くの学校施設の改修等を進めていくことが課題であり、特に、老朽化が同時に進む学校施設の複数整備を図っていくことは難しい状況であると認識しています。</p> <p>このため、平成 29 年度、30 年度の 2 箇年を掛け、老朽化が進む学校施設が、今後どの程度の期間使用可能か、建替えるのか、長寿命化対策を図るのか等の判断に資するための学校施設老朽化状況調査を実施しています。</p> <p>今後減少する児童・生徒数の将来推計を見据えた学校の適正規模・配置のあり方（統廃合）や老朽度の把握などとともに、学校施設整備計画の見直し作業の中で取り組んでいきます。</p>	
添付資料	

### <鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>

児童減が進む中、小中学校の統廃合についてどう考えているのか。

### <松尾市長>

鎌倉市が保有する公共施設の床面積の半分は小・中学校である。公共施設の再編を考える際、小・中学校の統廃合は避けられない課題と考えている。今年度、教育委員会で学校施設の整備計画見直し作業を行う中で、統廃合について検討している。

### <教育部・佐々木部長>

現在の小学校 16 校、中学校 9 校について、適正規模、適正配置を検討している。同時に、長寿命化が可能な建物はどこかなどの調査をしている。

### <ガーデンハイツ鎌倉玉縄・三好会長>

関谷小ブロックの防災協議会に参加している。鎌倉市は小学校がミニ防災拠点になっていて、何かあると小学校の体育館が避難所になる。統廃合で小学校がなくなると避難場所がなくなることにもなる。

消防署勤務時代に、東日本大震災後 2 つの廃校となった小学校に福島の被災者を受け入れた経験があるので、学校を廃校にした後の建物の維持管理など、計画の中に反映していただきたい。

### <防災安全部・柿崎部長>

小・中学校はミニ防災拠点になっていて、避難時の食糧・用具が備蓄されている。小中学校が廃校になると、地域の避難所がなくなるので、どこを避難所に設定するかなど、地域防災計画の再編が必要になるので、それにあわせ避難所の確保を図りたい。

### <植木町内会・山崎会長>

なくなる予定の学校には冷房がつかないなどと聞いている。統廃合でなくなる小学校にデメリットがないようにしてほしい。

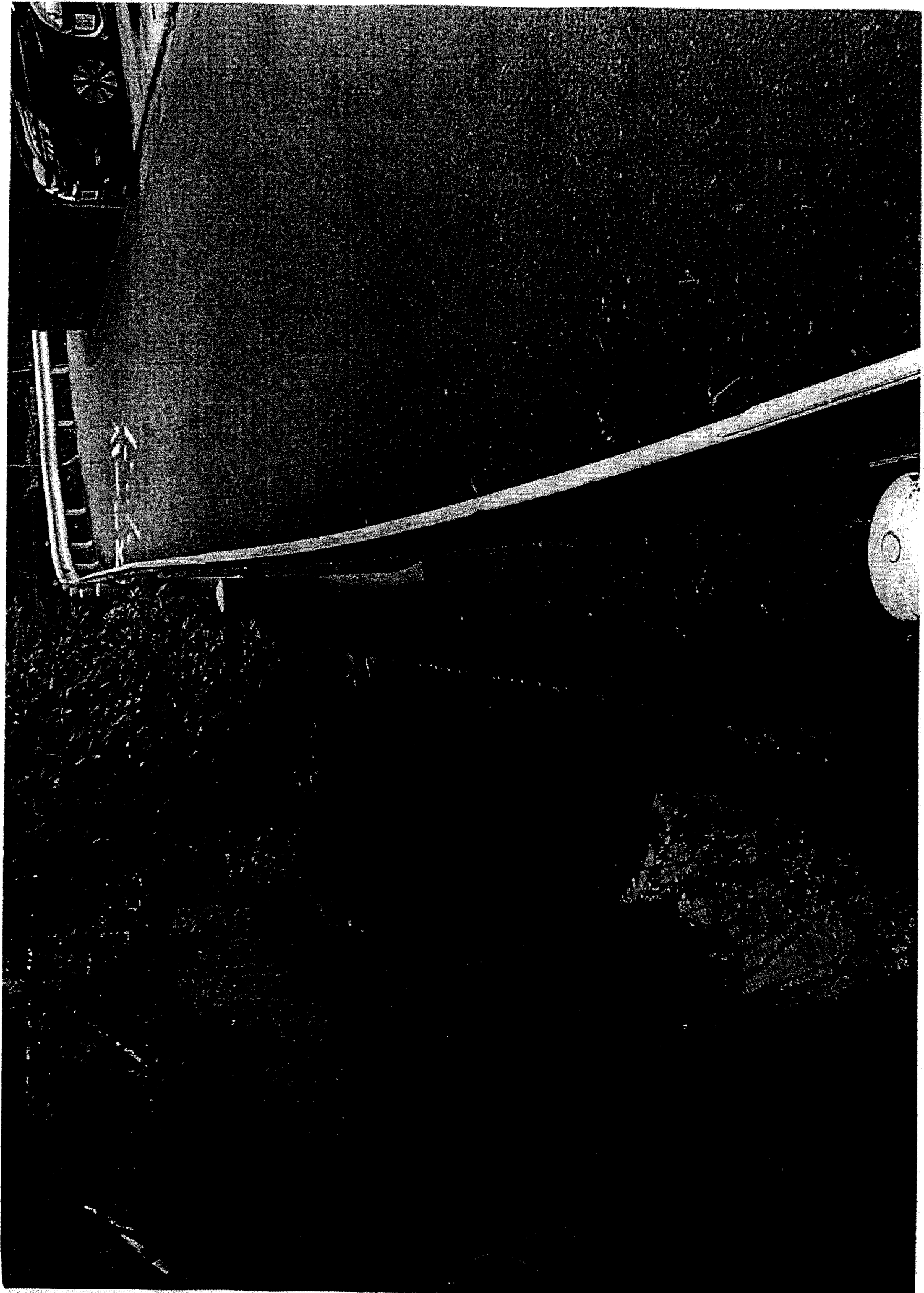
### <松尾市長>

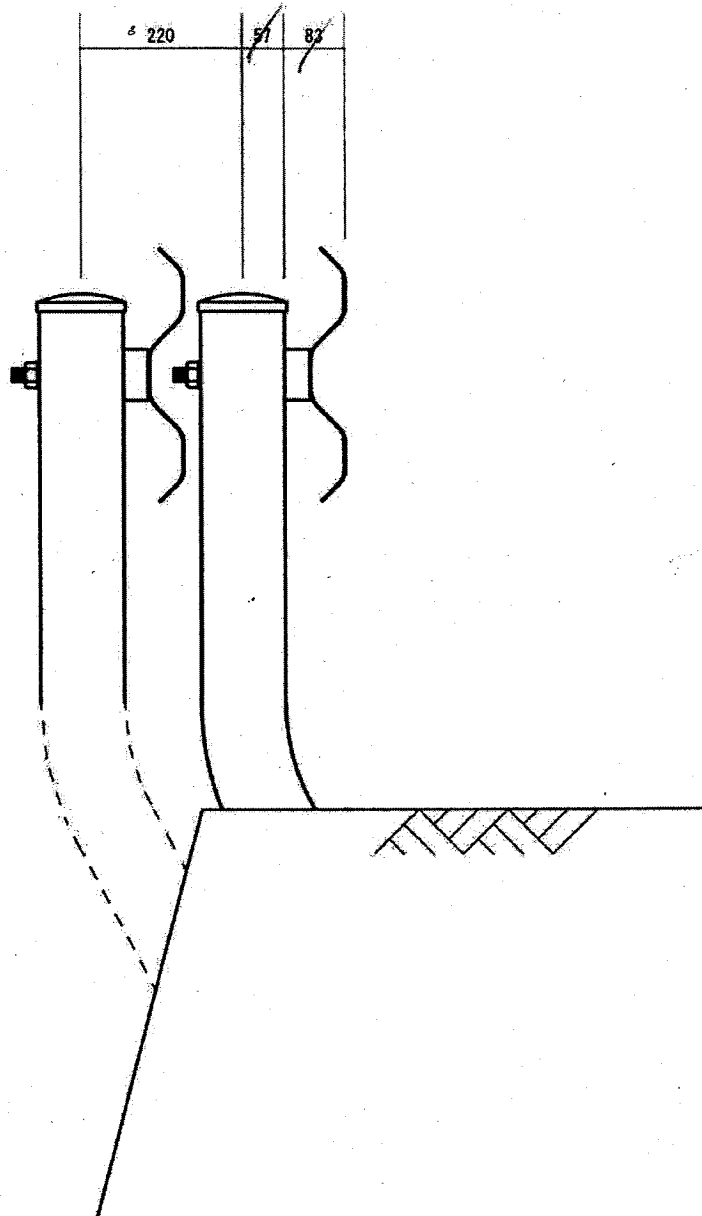
冷房設置、トイレの改修は一斉に行う。生徒数が少ないから後回しにするなどということはない。より良い環境にするために、統廃合しなくてはならないという事実は受け止めていただきたい。行政主導に見えるのはやむを得ないないが、住民の皆さんも一緒に考えていただきたい。

平成 30 年度ふれあい地域懇談会（第 3 部） 回答票

番 号	玉縄－H30－5
テ ー マ	道路狭隘のため、ガードレールの支柱の付け替えの要望
内 容 詳 細	<p>当該道路（関谷 514 番地先及び関谷 528 番地）県立擁護学校南側は玉縄方面から戸塚区田谷方面への抜け道であり、比較的車両の通行が多い道路である。反面、道路狭隘のため、すれ違いが大変困難でもある。そのため、運転者同士のトラブルも多く、また進入した車が途中からバックを余儀なくされ、気の毒な情景を多く見かける。</p> <p>現状のガードレールの支柱を別添図のごとく傾斜を強くしたら、お互い楽に行き交うことができると考えるので、是非ご検討をお願いしたい。</p>
担 当 部 課	都市整備部 道路課

議題に対する回答等	
<p>当該地に設置されているガードレールの支柱は、関谷川の護岸上にあることから、ガードレールの支柱を付け替えても有効幅員は広がらないと考えています。</p> <p>車道を広げるには、小学校側の歩道を狭くする必要があり、児童の安全性や通行スペースの確保を考えると、難しいと考えています。</p>	
添付資料	ガードレール参考資料







**<玉縄自治町内会・正木会長>**

関谷川の道路の交差が難しい。40cm川側にガードレールをずらすと、すれ違いがスムーズになる。市からの回答はNGとなっているが、小学校側の歩道を狭くすることは私も考えていない。また、全面的な付け替えではなく、一部だけでも検討してほしい。

**<都市整備部・関次長>**

実際に現地に行って確認したところ、有効幅員はすれ違えるくらいあるのだが、曲がりくねっているため、危険を感じるようだ。警察や住民の方と相談しながら、通リやすくなるよう検討していきたい。

## 【その他のテーマについて】

### ＜四季の杜自治会・田名部会長＞

危険箇所マップで、四季の杜が洪水浸水想定区域に入っている。柏尾川の蛇行部分で水が溢れてしまうように見える。蛇行の改善等は市で対策を考えているか。

### ＜都市整備部・関次長＞

柏尾川は、神奈川県管理であり、神奈川県に確認したい。

### ＜松尾市長＞

県が蛇行改良を考えているということは聞いていないが、川の上流からの量を調整する、川を深くする、などの対策を行っている。

### 《後日対応 都市整備部下水道河川課》

県に確認したところ、柏尾川の整備については、県が平成3年度に策定（平成9年度改定）した「都市河川重点整備計画（かながわセイフティリバー50）」に基づき、時間雨量 50mm の降雨に対応した整備が完了しているが、近年、ゲリラ豪雨が頻発していることなどから、平成22年3月に上記計画を改定した。

この計画で、柏尾川については、整備目標降雨を一段高め、今後30年間で、概ね時間雨量 60mm の降雨に対応できるよう整備を進めることとしており、神奈川県横浜川崎治水事務所管内において、洪水調節施設等を検討しているとのことであった。

### ＜ガーデンハイツ鎌倉玉縄自治会・三好会長＞

市のホームページで、鎌倉市の地域防災計画を閲覧できるようにしてほしい。

### ＜関谷城廻町内会・正木会長＞

豪雨の際、柏尾川近辺で、何が起こるか、市では調査しているのか。

### ＜防災安全部・柿崎部長＞

市の地域防災計画はホームページにあるので、その場所は後でお教えする。

洪水と内水のハザードマップについてもホームページにあるが、最新の浸水区域などは神奈川県のホームページに載っている。その中で柏尾川については、24時間以内に約 630mm という、概ね 1000年に一度の確率の降雨における溢水、浸水区域が示されている。

### ＜鎌倉ロジュマン自治会・石井会長＞

4年前はあと 30cm で溢水であった。ゲリラ豪雨は頻発、また、柏尾川支流が溢れるケースもある。

**<防災安全部・柿崎部長>**

西日本豪雨を踏まえて、災害弱者を助けるために要支援者名簿をお渡ししている。7割の自治町内会に受け取っていただいている。共助に役立ててほしい。防災無線が聞こえない際の補完として、市の防災安全メールの登録を勧めているところである。

**<鎌倉ロジュマン自治会・石井会長>**

要支援者名簿は必要な情報の記載がないため、役に立たない。市には再考願いたい。



# 付 録

## 当日配布資料

- 1 地区別危険箇所マップ
- 2 鎌倉市市政e-モニター登録のご案内
- 3 鎌倉市ふるさと寄附金